

平成28年5月13日

仙台市縄文の森広場 館長 様

仙台市立岡田小学校

校長 佐藤 正文

担当 第6学年 佐藤 佑樹

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・ 平成28年 5月16日(月) 1校時

(1) 主な内容

- ・ 社会科の授業で校外学習を通してわかったことや感想を記入し、発表し合う。

2 送付する資料

- ・ 児童生徒の学習後の感想(一部抜粋) 5名分

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童生徒については、個人名は伏せてA、Bと表現しております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年主任 教諭 佐藤 佑樹

TEL 258-1083 FAX 258-2085

Email okada026@sendai-c.ed.jp

児童の感想文

○A

縄文の森広場で、私は勾玉を作りました。思ったより手が疲れて大変な作業でしたが、最後にぴかぴか光る勾玉ができたときにはとてもうれしかったです。縄文人もこんな思いをして作ったのかなと思いました。大変でもおしゃれをしたいという気持ちは、今と変わらないんだなと思いました。

○B

「たんけんノート」を使って、展示されているものを見ました。難しいところもあったけれど、友達と協力しながらがんばって探しました。縄文時代の家の中を見て、中にあるものは違っていても、家族で仲良く協力しているところは今と同じだなと思いました。

○C

縄文の森広場でたて穴住居に入ってみると、温かくて、独特のにおいがしました。外は明るいのに、住居の中は暗かったから、夜になるともっと暗いだろうなと思いました。でも、自分たちの近くで、縄文時代の人がふつうにくらしていたんだと思うと不思議な気がしました。

○D

学校の社会で習ったことが、見たり体験したりすることでよく分かりました。いろいろ教えてくださってありがとうございました。今度は休みの日に、家族と一緒に行って別の体験学習をしてみたいです。

○E

お姉ちゃんも前に勾玉を作っていたので、ぼくも作るのをとても楽しみにしていました。ただ作るだけでなく、勾玉の形がなぜあのような形になったのかを説明してもらって、とても勉強になりました。縄文時代の人も道具を上手に使って生活していたことがよく分かりました。